2013.05.07

インターンシップ・PBL テーマご提案のお願い

東京大学大学院工学系研究科
教授　光石 衛
教授　丸山 茂夫

東京大学大学院工学系研究科では，従来の高い専門性に加え，課題の設定能力・解決能力を備え，幅広い分野で活躍できる人材育成を目的として，産学連携による新たな教育プログラムの試行を試みております．大学院博士課程学生を中心とした取り組みで，研究インターンシップ，チームインターンシップ，PBL(Project Based Learning)と呼び，いずれも産業界から課題を提案いただき，その解決を図るものです．将来の産業界・学術界を担う国際競争力の高い人材を育成するために，また，テーマ提案企業においても，職場への良い刺激や学生指導における若手のマネージメント力強化に寄与するためにも，本プログラムにご賛同いただき，テーマ提案をお願いしたいと存じます．

下記にそれぞれの取り組みについて紹介いたします．添付のテーマ提案書にご記入いただくか，お手持ちの実施要項をご連絡ください．なお，実施場所については，国内外を問いませんので，海外拠点での実施も歓迎しております．不明な点については，ご遠慮なくお問い合わせください．宜しくお願い致します．

申し込み〆切は 2013 年 5 月 31 日(金)とさせていただきます．

記

(1) 研究インターンシップ

実施形態：予めテーマを設定し，その課題解決を図る．学生個人をテーマ提案企業に派遣する．テーマは学生の専門性を加味した研究テーマとする．

期間：企業派遣は 2 ケ月～6 ヶ月を想定する．派遣期間中に大学へ通学する場合もある．実施時期は相談の上決定する．

主な実施場所：テーマ提案企業

(2) チームインターンシップ

実施形態：予めテーマを設定し，その課題解決を図る．博士学生と修士学生が 2～3 名のチームを組んで取り組む．テーマは学生の所属する研究室の専門性を加味した研究テーマ(共同研究を含む)および，一般的な課題とする．

期間：取り組み期間は 6 ヶ月程度を想定する．取り組み期間中に企業にチームメンバーを派遣する．派遣期間や時期については別途協議する．

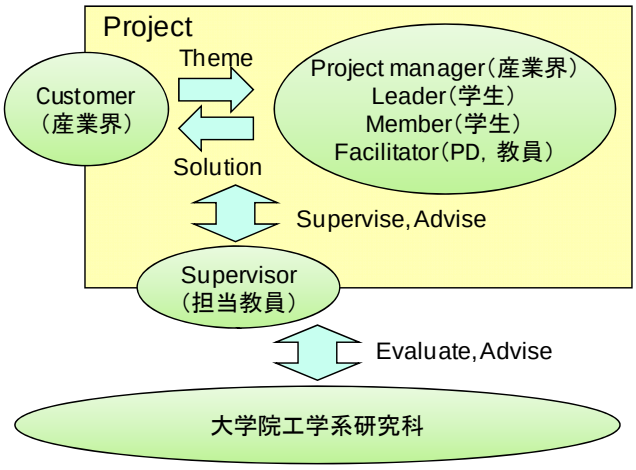
主な実施場所：東京大学およびテーマ提案企業

(3) PBL(Project Based Learning)

実施形態：予めテーマを設定し，その課題解決を図る．博士学生が 4～8 名のチームを組んで取り組む．チームメンバーをテーマ提案企業に派遣する．テーマは一般的な課題とする．

期間：取り組み期間は冬学期の 6 ヶ月とする．夏休み期間中にテーマ事前検討を行う．取り組みによっては，企業にチームメンバーを派遣する場合がある．

主な実施場所：東京大学



インターンシップや PBL でのチームイメージ

(1)(2)(3)共通

対象学生：東京大学工学系研究科の博士課程学生および修士課程学生(専攻は下記参照)
機械工学専攻，航空宇宙工学専攻，システム創成学専攻，精密工学専攻，マテリアル工学専攻，応用化学専攻，化学システム工学専攻，他

機密保持や知的財産に関する協定：別途協議

費用負担：学生の派遣に関する旅費などについては，別途協議.

大学院講義：実施内容に応じて単位認定を行う講義として取り扱う.

備考：いただいたテーマについて，学生の希望や博士論文等の専門分野とのマッチングを基に，インターンシップ実施をお願いする予定です．あいにく，合致する学生が現れないこともあるかとは存じますが，その際はご容赦いただけるようお願い致します.

問合せ先：
東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻
GMSI プログラム事務局
〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
工学部 2 号館 2 階 203 号室
Tel/Fax　03-5841-0696
E-mail：　gmsi-office@pcil.t.u-tokyo.ac.jp
URL　：　http://gmsi.t.u-tokyo.ac.jp/